

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
111p

大事業名	吉川保育所管理事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川保育所の施設・設備等の修繕や改修等を行う。
対象	吉川保育所の施設・設備・備品等
意図・目的	吉川保育所の施設・設備等の適正な維持・管理及び児童の保育環境の充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H29決算	H30決算	うち特定財源
1 吉川保育所管理事業	吉川保育所の施設・設備の保守及び修繕	1,636	1,355	199
2 吉川保育所管理事業	0歳児室エアコン取替、遊戯室暖房機取替	0	358	0
3 吉川保育所備品買替事業	壁掛け式扇風機、モノクロ複合機の買替	0	490	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設・設備の改善や改修等を行うことにより、保育環境の充実を図ることができた。			
〈主な経費〉			
・施設設備等保守管理委託	105,600円	・施設修繕（屋上雨漏り点検補修他）	577,039円
・施設設備等清掃委託	250,560円	・植木剪定及び除草業務委託	167,600円
・遊具整備（ボールプール他）	199,490円	・遊戯室暖房機取替工事	197,980円
・0歳児室エアコン取替工事	159,624円		

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設・設備の保守・点検等により、修繕等が必要な箇所について対策を実施し、適正管理を図る。
--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
113p

168

事業名	吉川保育所運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援サービスの充実		
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川保育所における保育の実施や施設の運営に関する事業
対象	0歳から小学校就学前の在籍児童
意図・目的	児童が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図る。

2.構成事業

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H29決算	H30決算	うち特定財源
1 吉川保育所運営事業	・ 保育の実施、施設の運営 ・ 給食調理委託	27,942	27,944	2,209

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・ 適正な保育の実施を行い、児童の健全な心身の発達に資することができた。 ・ 児童（2号・3号保育）の在籍状況（平成30年度末現在） 0歳児9人、1歳児15人、2歳児18人、3歳児19人、4歳児14人、5歳児23人、計98人 〈主な経費〉 ・ 給食調理委託業務 11,340,000円 〈主な行事〉 ・ 入所式 4月3日、運動会 6月16日、夕涼み会 6月30日、デイキャンプ7月13日、修了式 3月16日
--

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
117p

大事業名		留守家庭児童育成室管理事業	款 民生費	項 児童福祉費	目 育成室運営費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実			[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	子育て支援環境の充実			
	総合戦略				
個別計画					[その他]

1.概要

事業内容	留守家庭児童の居場所を確保し、適切な保育を実施する。
対象	留守家庭の小学生
意図・目的	保護者の就労等により、放課後に留守家庭となる小学校1年生から6年生の児童について健全な育成を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	留守家庭児童育成室管理事業	留守家庭児童育成室の運営 (東能勢育成室、光風台育成室、東ときわ台育成室)	1,321	1,478	1,475

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・就業等により昼間、保護者が家庭にいない児童を対象に、授業が終わった後の遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることができた。							
・児童の在籍状況（平成30年度末現在）（単位：人）							
区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
東能勢育成室	12	5	4	2	0	0	23
光風台育成室	13	10	6	2	3	0	34
東ときわ台育成室	9	8	5	4	1	2	29
計	34	23	15	8	4	2	86
〈主な経費〉施設修繕 187,142円、光熱水料費 488,108円、東と小育成室送迎委託 280,313円ほか							

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
159p

大事業名	教育委員会運営事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	教育委員会費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			[その他]
	個別計画			

1.概要

事業内容	教育委員会会議の開催、学校園所視察訪問、研修等
対象	教育長及び委員（5名）
意図・目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、豊能町教育行政の推進に資することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	教育委員会運営事業	教育委員会会議の開催、教育委員研修等	851	935	0

170

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

教育委員会会議の開催や学校園所への訪問視察を行うなど、本町の教育行政の推進に資することができた。 ・定例会、臨時会の開催：年14回開催 ・学校園所訪問視察：小学校4校、中学校2校、保育所、幼稚園、認定こども園 ・委員研修・研究会 年6回 ・各種行事への出席：入学式、卒業式、運動会、体育祭等 ・総合教育会議（H30実績なし） 〈主な経費〉 ・教育委員会委員報酬 5名 750,000円
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
161p

大事業名	事業名	款	項	目
	学校園管理事業	教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			
個別計画		豊能町教育大綱（H30.2月改定）		
		[総合計画(目標年度R3)]		
		[総合戦略(目標年度R1)]		
		[その他] 平成35年4月に小中一貫校、東西地区に認定こども園の整備を目指す。		

1.概要

事業内容	学校園の横断的な管理業務
対象	小中学校、幼稚園、認定こども園
意図・目的	学校園に関する全体的な施設管理、安全対策及び人事管理等を行うなど、学校園の円滑な運営を支援することを目的とする。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	学校園管理事業	学校園の横断的、総合的、効率的な施設管理及び行事等サポート事務、外国人青年招致、豊能地区人事権移譲事務、教育総務事務等。	4,827	7,541	16
2	小中一貫教育等推進事業	教育大綱に則り、小中一貫教育の推進と教育施設の再編成を進める。	13	4,436	0
3	町内学校間交流事業	小学校間の交流や中学校クラブ活動における共同実施等、町立小中学校間の交流を深める。	0	39	39

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

〈小中一貫教育等推進事業の主な活動・経費〉
・小中一貫教育推進・学校再配置計画説明会の開催（30回）
・小中一貫教育施設基本計画策定業務委託 4,017,600円
〈学校園管理事業の主な経費〉
・学校園の剪定、支障木伐採等（業務委託料） 2,217,930円
・大阪府豊能地区教職員人事協議会負担金 506,000円
・JETプログラム ALT渡航費等負担金 684,892円

4.課題整理

課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	学校の負担軽減 教職員の業務量の増加
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	小中一貫校及び東西地区の認定こども園の整備 豊能町教育大綱（平成30年2月改定）
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

学校園管理については、学校の負担軽減に向けた対策を実施していく。 小中一貫教育等推進については、教育大綱（改定）を早期に示していただき、その内容に沿った教育の推進と施設の再配置に向けた基本計画・基本設計の策定が必要。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
163p

大事業名	学校園保健衛生事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	青少年の健全育成		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	学校園の児童生徒及び教職員の健康診断等の実施
対象	小中学校、幼稚園、認定こども園
意図・目的	学校園における児童生徒及び教職員等の健康の保持増進を図るなど、安全・安心な学校園の運営に資することを目的とする。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H29決算	H30決算	うち特定財源
1 学校園保健衛生事業	学校園の児童・生徒・園児及び教職員等の健康診断等、学校保健に関する事業を行う。	12,828	12,671	449

172

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

就学時・就園前健診、学校健診及び教職員健診等を実施するなど、学校園の安全・安心な運営に資することができた。

- ・就学時・就園前健診：東西地区 各1回実施（11月）
- ・学校健診：4月～7月実施
- ・歯みがき指導：6月・11月実施
- ・教職員健診：7月～8月実施
- ・脊柱側弯症検診：12月実施

〈主な経費〉

- ・学校医報酬(その他報酬) 7,925,950円
- ・薬剤師報酬(その他報酬) 540,000円
- ・児童生徒の健康診断等委託 1,239,616円
- ・教職員健診委託料 1,379,329円 ほか

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
165p

大事業名	就学援助事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対する学用品購入等に係る援助を実施する。
対象	小中学校の児童生徒のうち、経済的な理由で就学困難な者
意図・目的	小中学校の児童生徒の就学支援を行い、教育の機会均等を図る。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	就学援助事業	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学級費や給食費、修学旅行費等を援助費として給付する。	8,653	9,743	12

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

子どもの就学援助に資することができた。 本年度要綱改正を行い、18人に入学前支給を行った。 ・平成30年度における就学援助の状況：小学生71人、中学生53人、合計124人 〈主な経費〉 ・要保護・準要保護の就学援助（扶助費）9,743,437円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	--

6.改善の方向性

--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
169p

大事業名	奨学資金貸与事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	奨学費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	奨学資金の貸与
対象	高等学校、大学等に在学する学生
意図・目的	経済的理由のために高等学校以上の修学が困難と認められる者に対し、奨学資金を貸与することにより教育機会の確保を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	奨学資金貸与事業	高等学校・大学・高等専門学校等の在学生及び新年度入学生のうち、経済的理由のために就学困難と認められる者を対象に奨学資金を貸与し、教育基本法に掲げる理念に基づき、教育の機会均等を図る。	1,632	1,644	1,644

174

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

奨学資金を貸与することにより教育機会の確保に資することができた。

○貸与件数、貸与額

高校生	1名	144,000円
大学生	5名	1,500,000円
計	6名	1,644,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	他の奨学金制度との役割の差別化貸与型でない就学支援制度の検討	他の奨学金制度の充実・多様化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

高等教育の無償化の動向を踏まえ、本町の奨学金制度の再構築を図る。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
169p

事業名	小学校管理事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度R3)]	関連指標
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略		[総合戦略(目標年度R1)]	
	個別計画		[その他]	

1.概要

事業内容	町立小学校の施設・設備の整備及び維持管理、小学校給食調理委託等
対象	町立小学校の施設
意図・目的	町立小学校4校の施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	小学校管理事業	町立小学校4校の施設・設備の保守及び維持管理等、小学校給食調理委託	51,670	53,984	0
2	小学校施設整備事業	町内4小学校の改修工事(吉小・受変電設備更新、東と小・消火栓用ポンプ修繕、光小・手洗器漏水修繕ほか)	16,200	6,563	0
3	新規採択教科書(道徳)関連図書購入事業	平成30年度から実施される特別の教科「道徳」における指導書等、関連図書の購入、整備	0	538	0

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

・施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。			
〈主な経費〉			
・小学校給食調理委託業務(4校)	39,548,520円		
・学校施設等修繕料	6,745,929円		
・ブロック塀改修(東能勢小)	464,400円	・受変電設備更新(吉川小)	947,160円
・A棟2階手洗器漏水修繕(光風台小)	803,466円	・消火栓用ポンプ修繕(東ときわ台小)	1,048,572円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化・経年劣化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化・経年劣化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A:各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B:小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D:大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・施設・設備の保守・点検等により、修繕等が必要な箇所について対策を実施し、適正管理を図る。
・大規模修繕や改修については、学校再配置と一体的に考える必要がある。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
171p

大事業名	東能勢小学校運営事業	款 教育費	項 小学校費	目 学校管理費
------	------------	----------	-----------	------------

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	東能勢小学校の運営
対象	東能勢小学校
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	東能勢小学校運営事業	学校運営に関する経費	8,388	8,351	0

176

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢小学校の円滑な運営に資することができた。				在籍児童数（平成30年5月1日現在）		
〈主な行事〉				1学年	1学級	19人
・入学式 4月9日				2学年	1学級	29人
・運動会 6月2日				3学年	1学級	22人
・修学旅行 10月4～5日				4学年	1学級	36人
・学習発表会 11月10日				5学年	1学級	19人
・マラソン大会 11月28日				6学年	1学級	25人
・卒業式 3月18日				計	6学級	150人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
171p

事業名	吉川小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	吉川小学校の運営
対象	吉川小学校
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	吉川小学校運営事業	学校運営に関する経費	7,859	7,425	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（平成30年5月1日現在）		
(主な行事)	1学年	1学級	13人
・入学式 4月9日	2学年	1学級	15人
・運動会 6月2日	3学年	1学級	13人
・修学旅行 10月4～5日	4学年	1学級	16人
・作品展 12月4～7日	5学年	1学級	10人
・卒業式 3月18日	6学年	1学級	19人
	計	6学級	86人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
173p

大事業名	光風台小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			[その他]
	個別計画			

1.概要

事業内容	光風台小学校の運営
対象	光風台小学校
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H29決算	H30決算	うち特定財源
1 光風台小学校運営事業	学校運営に関する経費	13,780	14,674	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

光風台小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（平成30年5月1日現在）		
〈主な行事〉	1学年	1学級	33人
・入学式 4月9日	2学年	2学級	42人
・運動会 6月2日	3学年	1学級	34人
・修学旅行 10月4～5日	4学年	2学級	42人
・作品展 12月3～7日	5学年	1学級	28人
・卒業式 3月18日	6学年	2学級	44人
	計	9学級	223人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
173p

大事業名	東ときわ台小学校運営事業	款 教育費	項 小学校費	目 学校管理費
------	--------------	----------	-----------	------------

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	東ときわ台小学校の運営
対象	東ときわ台小学校
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	東ときわ台小学校運営事業	学校運営に関する経費	7,824	8,062	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東ときわ台小学校の円滑な運営に資することができた。在籍児童数（平成30年5月1日現在）			
〈主な行事〉	1学年	1学級	24人
・入学式 4月9日	2学年	1学級	23人
・運動会 6月2日	3学年	1学級	23人
・修学旅行 10月5～6日	4学年	1学級	15人
・作品展 12月3～7日	5学年	1学級	31人
・マラソン大会 12月6日	6学年	1学級	33人
・卒業式 3月18日	計	6学級	149人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
173p

事業名	小学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	小学校費	教育振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	学校教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	教材備品の整備、情報教育機器の整備、教科研究活動費等
対象	町立小学校
意図・目的	小学校教育課程において必要な備品を整備して学習環境を整えること、また、研究会の実施により、教育の向上を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	小学校教育振興事業	町立小学校4校で各種授業や課外活動等において使用する補助教材の整備等。	16,859	13,101	0
2	小学校教育振興事業	普通教室ICT機器整備	2,448	3,583	3,583

180

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

小学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。

〈主な経費〉

- ・教育振興備品購入（教材費） 1,017,372円
- ・情報機器の更新に係る機器使用料（機械器具使用料） 11,934,456円
- ・各団体負担金（負担金） 100,340円
- ・普通教室ICT機器類整備（タブレット、ディスプレイ他）（備品購入費）3,583,059円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	授業における情報機器類の活用	情報教育の推進
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	機器更新	機器・ソフト等のバージョンアップ （現有機器の旧式化） 電子教材への対応
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

情報機器の充実・更新を順次進めていく。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
175p

事業名	中学校管理事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度R3)]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実	[総合戦略(目標年度R1)]	
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
	個別計画		[その他]	

1.概要

事業内容	町立中学校の施設、設備の整備及び維持管理、中学校給食調理委託等
対象	町立中学校の施設
意図・目的	町立中学校2校の施設の改修、維持管理を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	中学校管理事業	町立中学校2校の施設・設備の整備及び維持管理	30,765	29,418	15
2	中学校施設整備事業	中学校施設の補修、維持管理及び質的向上	4,701	9,137	0
3	中学校給食充実事業	町独自の付加メニューの提供(月に1回程度)、小学校6年生の中学校給食試食会の実施。	280	497	0

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

・施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。			
〈主な経費〉			
・中学校給食調理委託業務	23,993,454円	・学校施設等修繕料	2,955,573円
・プールフェンス改修工事(東能勢中)	4,730,400円		
・プール横ブロック塀改修工事(東能勢中)	1,296,000円		
・ブロック塀改修工事(東能勢中2件)	1,873,800円		
・自火報設備取替(吉川中)	646,920円	・手すり等設置工事(吉川中)	438,210円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無	・施設・設備の適正管理 ・中学校給食の改善	・施設・設備の老朽化・経年劣化 ・中学校給食のメニューの工夫、食育の取り組み
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 有	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化・経年劣化
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

5.総合評価

B	A:各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B:小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D:大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・施設、設備の保守・点検等により、修繕等が必要な箇所について対策を実施し、適正管理を図る。	
・給食については、メニューの工夫や小学校6年生の試食会の実施等により改善に取り組むとともに、食育を推進する。	

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
175p

大事業名	東能勢中学校運営事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	東能勢中学校の運営
対象	東能勢中学校
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにすることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H29決算	H30決算	うち特定財源
1 東能勢中学校運営事業	学校運営に関する経費	7,243	7,865	15

182

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢中学校の円滑な運営に資することができた。			
〈主な行事〉		在籍生徒数（平成30年5月1日現在）	
・入学式	4月6日	1学年	1学級 35人
・修学旅行	5月16～18日	2学年	1学級 36人
・体育祭	9月27日	3学年	1学級 26人
・職場体験学習(2年)	10月30日～11月1日	計	3学級 97人
・マラソン大会	12月6日		
・卒業式	3月14日		

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
177p

大事業名	吉川中学校運営事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川中学校の運営
対象	吉川中学校
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにすることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	吉川中学校運営事業	学校運営に関する経費	9,662	9,319	30

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川中学校の円滑な運営に資することができた。		
〈主な行事〉	在籍生徒数（平成30年5月1日現在）	
・入学式 4月6日	1学年	2学級 74人
・修学旅行 5月23～25日	2学年	3学級 80人
・合唱発表会 6月7日	3学年	3学級 107人
・体育大会 9月28日	計	8学級 261人
・職場体験学習(2年) 10月23～25日		
・卒業式 3月14日		

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
177p

大事業名	中学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	中学校費	教育振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	学校教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	教材備品の整備、情報教育機器の整備、教科研究活動費等
対象	町立中学校
意図・目的	中学校教育課程において必要な備品を整備して学習環境を整えること、また、研究会の実施により、教育の向上を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	中学校教育振興事業	町立中学校2校で各種授業や課外活動等において使用する補助教材の整備等	9,683	9,444	0
2	中学校教育振興事業	普通教室ICT機器整備	2,142	4,031	4,031

184

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

中学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。

〈主な経費〉

- ・教育振興備品購入（教材費） 749,315円
- ・情報機器の更新に係る機器使用料（機械器具使用料） 8,523,048円
- ・各団体負担金（負担金） 122,000円
- ・普通教室ICT機器類整備（タブレット、ディスプレイ他）（備品購入費）4,030,941円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	授業における情報機器類の活用	情報教育の推進
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	機器更新	機器・ソフト等のバージョンアップ （現有機器の旧式化） 電子機材への対応
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

情報機器の充実・更新を順次進めていく。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
179p

大事業名	ひかり幼稚園管理事業	款 教育費	項 幼稚園費	目 幼稚園管理費
------	------------	----------	-----------	-------------

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園の設備・整備の維持管理
対象	ひかり幼稚園の施設
意図・目的	ひかり幼稚園施設の適正な維持・管理により、環境の充実を図ることを目的とする。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	ひかり幼稚園管理事業	ひかり幼稚園の施設・設備の保守管理及び修繕等	1,211	871	200
2	ひかり幼稚園備品買替事業	子ども用テーブル	0	81	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

〈主な経費〉

・施設修繕	384,402円
・機械警備委託	194,400円
・教育用備品購入（太鼓等）	199,944円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化・経年劣化
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設・設備の保守・点検等により、修繕等が必要な箇所について対策を実施し、適正管理を図る。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
179p

大事業名	ひかり幼稚園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			[その他]
	個別計画			

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園における教育保育事業
対象	園児
意図・目的	教育課程に基づき、教育目標を達成するために年齢に応じた適切な教育内容、教育環境を整え教育活動を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	ひかり幼稚園運営事業	ひかり幼稚園運営経費	2,811	2,938	967

186

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・幼稚園での教育や行事等の園の活動を円滑に実施することができた。
- ・園児（1号教育）の在籍状況（平成30年度末現在） 3歳児33人、4歳児31人、5歳児27人、計91人

〈主な行事〉

- ・入園式 4月10日 ・夕涼み会 6月30日 ・デイキャンプ 7月20日 ・運動会 10月6日
- ・小学校体験入学 2月12日～15日 ・卒園式 3月15日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
181p

大事業名	ふたば園管理事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	ふたば園の設備・整備の維持管理
対象	ふたば園の施設
意図・目的	ふたば園施設の適正な維持・管理により、環境の充実を図ることを目的とする。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	ふたば園管理事業	ふたば園の施設・設備の保守管理及び修繕等	1,834	1,847	199
2	ふたば園備品買替事業	乳児用体重計	0	71	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

〈主な経費〉			
・施設修繕	574,808円	・施設設備等保守管理委託	262,800円
・機械警備委託	382,320円	・施設設備等清掃委託	268,598円
・教育用備品購入（トランポリン他）	199,454円	・乳児用体重計	71,280円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化・経年劣化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設・設備の保守・点検等により、修繕等が必要な箇所について対策を実施し、適正管理を図る。
--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
181p

事業名	ふたば園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	ふたば園における教育保育事業
対象	園児
意図・目的	園児が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図る。

2.構成事務事業

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H29決算	H30決算	うち特定財源
1 ふたば園運営事業	ふたば園の運営経費	24,946	24,635	2,774

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・園児が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図ることができた。 ・園児の在籍状況（平成30年度末現在） 1号(教育)：3歳児9人、4歳児4人、5歳児9人、計22人 2・3号(保育)：0歳児9人、1歳児6人、2歳児7人、3歳児12人、4歳児8人、5歳児10人、計52人 合計74人 〈主な経費〉 ・給食調理委託業務 11,340,000円 〈主な行事〉 ・入園式 4月10日、夕涼み会 6月30日、運動会 10月13日、卒園式 3月16日

4.課題整理

課題の有無	課題の内容		要因の特定
	進捗管理	無	
現状の課題	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	- A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 - B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 - C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 - D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
201p

大事業名	款	項	目
公立学校施設災害復旧事業	災害復旧費	文教施設災害復旧費	公立学校施設災害復旧費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	災害復旧工事
対象	被災建物(光風台小学校・吉川中学校)
意図・目的	学校施設の復旧により学校運営の円滑化を図る

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	公立学校施設災害復旧事業	光風台小学校・体育倉庫屋根復旧、吉川中学校・プールフェンス復旧	3,348	4,622	2,443

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

[台風21号による被害の復旧工事]		
光風台小学校・体育倉庫屋根復旧	3,780,000円	
吉川中学校・プールフェンス復旧	842,400円	

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A:各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B:小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D:大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育支援課
165p

大事業名	学校教育充実事業	款		項		目	
		教育費		教育総務費		事務局費	
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり			関連指標	[総合計画(目標年度R3)]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実				学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
	施策	学校教育の充実				[総合戦略(目標年度R1)]	
	総合戦略	基本目標2「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造				学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
個別計画	豊能町子ども子育て支援事業計画				[その他]		

1.概要

事業内容	・教職員研修の充実 ・学校評価の充実
対象	児童・生徒、教職員
意図・目的	・学習指導要領の適切な実施のため、教職員研修等の充実を図る。 ・新学習指導要領の主旨の周知 ・学校評価により学校教育の改善

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	学校教育充実事業	・学校教育の充実を図るため、学習指導要領のめざす「生きる力」を育成する指導法の研究や特色ある学校づくりを推進する。 ・豊能町教科教育研究会にて各教科の研究推進を行う。	391	477	0
2	教職員研修充実事業	府で実施していた研修の多くを豊能地区と町独自で実施する。府への研修参加は、1人1回2000円の負担金の予算措置が必要である。	494	701	0
3	子どもの読書活動推進事業	平成25年度から育成している「本のソムリエ」プロジェクトに加え、特に保護者、地域を巻き込んだ啓発のためのイベントや講演会を実施する。児童生徒、保護者の読書意欲の向上を推進する。	2,358	2,318	2,318
4	学力向上事業	公民館を活用し「中学生まなび會教室」を開き、主体的に学ぶ生徒の支援を行う。町学力向上プランを策定し、授業力向上、授業改善をめざして学校を支援。保幼小中連携を推進するための研究を行う。	2,608	2,896	0
5	研究開発学校指定事業	文部科学省の研究開発学校事業の委託を受け、個に応じた教育課程の編成、実施及び指導方法について研究を行う。	889	952	952
6	ことばの力向上推進事業	町立中学校1～3年生を対象に実用英語技能検定及び小学校4～6年生を対象に日本語能力検定の受験料を年1回の受験時に全額公費負担する。	0	916	916
7	道徳教育推進事業	・豊能町立吉川中学校が大阪府教育庁より委託を受けて、「特別の教科道徳」の研究推進を行う。また、道徳の授業に必要な教材等を購入し、授業の改善・工夫を行う。	0	143	140

190

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・新学習指導要領の適切な実施のため、教職員研修等の充実を図ることができた。
・学校のランドデザイン作成のための管理職研修を行い、各学校が次年度の学校運営に活用することができた。
・豊能町立東ときわ台小学校での研究開発学校の研究を町内のその他の学校に普及することができた。
・学力向上プランを掲げ、2年目の取組みとして、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善が進んだ。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	
現状の課題	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

教職員研修については、先生方の多様なニーズがある中、毎年必要な研修とその年に必要な研修を分けて計画を立てていく必要がある。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育支援課
165p

大事業名	学校運営事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
	施策	学校教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
個別計画		豊能町子ども子育て支援事業計画	関連指標	[その他]

1.概要

事業内容	・学校(園所)自己診断及び学校協議会等の実施 ・問題解決に向けた具体的な目標・計画の策定と点検 評価
対象	学校協議委員
意図・目的	学校の教育目標の共有化と学校運営の組織化を図り、信頼される魅力ある学校づくりを推進する。地域に開かれた学校づくりを進めるため、学校が地域代表等の意見を聞く場（学校園所協議会）づくりを推進する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	学校運営事業	学校は、保護者・地域と連携して教育活動を展開する。学校協議会等により、学校教育自己診断の作成・分析について協議委員の意見を聞く場を設定する。	251	230	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

学校運営に関して、協議委員の意見を参考に取組みの改善・工夫が進んだ。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

今後、令和4年度を目標に、学校協議会から学校運営協議会（コミュニティスクール）への移行を進め、さらなる地域と学校との連携を図る。
--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育支援課
165p

192

大事業名		人権・地域教育充実事業	教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]	
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進		学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
	施策	人権尊重意識の高揚		[総合戦略(目標年度R1)]	
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
個別計画		豊能町子ども子育て支援事業計画	関連指標	[その他]	

1.概要

事業内容	・地域との協働による学校教育・保育の推進 ・人権教育の推進による一人ひとりを大切にしたい教育
対象	児童・生徒、教職員
意図・目的	・地域の教育力の向上 ・一人ひとりが輝く教育・保育の充実

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	人権・地域教育充実事業	人権教育・保育推進のための研修を充実させ一人ひとりが輝く教育活動の推進、充実を図る。	510	538	0
2	教育コミュニティづくり推進事業	地域住民等の参画による学校支援活動を充実させ、学校教育の充実を図るとともに、地域の教育力の向上を目指す。	1,299	1,227	812
3	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	警察や学校OBをスクールガード・リーダーとして委託する。スクールガード・リーダーは、各小中学校を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価、安全見守り隊(地域ボランティア)に対する指導等を行う。	478	486	309
4	いじめ問題等対策推進事業	いじめの未然防止及びいじめ発生時の対策のための行政としての責務を遂行する。未然防止のために学校等支援指導員を配置、教育問題等調査および支援対策委員会を立ち上げ、重大事案発生時にも備える。	1,717	1,487	1,419

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

・人権教育の理念を根底におきながら、自分を大切にしながら、相手も大切にする教育・保育活動を推進することができた。
・いじめ事案の対応について、初期対応や保護者対応への専門家の関わりが増えてきた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業において、通学路の安全確保等の観点から大切な事業であるが、府教育庁の予算が縮減方向。	市町村単位で事情が異なり、通学路の安全確保ができる体制づくりをそれぞれの実態に合わせて考えることが望まれているため。
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A:各小事業について計画どおりに進めることが必要 B:小事業について、事業の進め方に改善が必要 C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

・スクールガードリーダーの府補助金事業縮小にともなって、来年度町予算で獲得していく必要がある。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育支援課
167p

大事業名	児童生徒健全育成充実事業	款 教育費	項 教育総務費	目 事務局費
------	--------------	----------	------------	-----------

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
	施策	青少年の健全育成		[総合戦略(目標年度R1)]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
個別計画		豊能町子ども子育て支援事業計画	[その他]	

1.概要

事業内容	個別の教育支援計画に基づき個別の指導計画を作成し 一人ひとりのニーズに応じた授業を行う。
対象	個別の支援が必要な児童生徒
意図・目的	すべての障がいのある児童・生徒の社会参加と自立を目指し「ともに学び、ともに育つ」教育の一層の継承・発展を図る。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	児童生徒健全育成充実事業	支援学級等に在籍する児童・生徒に対して、専門分野の講師を招いて巡回相談を実施。児童生徒だけでなく、先生方にも指導を行い、個に応じた支援を充実させる。	1,081	1,022	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・配慮を要する児童生徒への支援充実が進んだ。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

・近隣の支援学校からの支援事業を活用しつつ、小・中学校の支援学級担任等への直接的な指導助言が継続的にできる人材確保が急務である。
--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
子ども育成課
99p

事業名		款		項		目	
		民生費		社会福祉費		社会福祉総務費	
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり			関連指標	[総合計画(目標年度R3)]	
	基本施策	安心できる福祉の充実				[総合戦略(目標年度R1)]	
	施策	障害者（児）福祉の充実					
	総合戦略					[その他]	
	個別計画	豊能町障害児福祉計画					

1.概要

事業内容	児童福祉法に基づき、障害児が身近な地域で適切な支援が受けられるよう、サービス利用に係る障害児通所支援給付費を支給する。
対象	障害児
意図・目的	障害児通所支援サービス等に係る費用を給付することにより、障害児等の生活支援を行うことを目的とする。

2.構成事業事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H29決算	H30決算	うち特定財源
1 障害児通所支援等事業	・放課後等デイサービス ・児童発達支援 ・医療型児童発達支援 ・障害児相談支援	19,062	26,891	26,337

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

事業の周知とともに、年々利用者が増加しており、保護者のニーズに合ったサービスを提供した。 (利用実人数：平成27年度 17人、平成28年度 23人、平成29年度 29人、平成30年度 28人)	
・障害児相談支援	8人/月
・児童発達支援	11人/月、77人日分/月
・医療型児童発達支援	3人/月、29人日分/月
・放課後等デイサービス	11人/月、113人日/月

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	今後の利用者増加と幅広いニーズに答えるためには、町内に複数の事業所の存在が望ましい。	町内にサービスを提供できる事業所が1つしかなかったが、令和元年度に放課後デイサービス施設が開設される予定（9月）。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

第1期豊能町障害児福祉計画に基づき、障害児に対する重層的な地域支援体制を構築し、必要な事業所の確保や関係機関の協議の場の設置を進める。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

子ども育成課
113p

事業名		款	項	目
子育て支援センター運営事業		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援サービスの充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

関連指標

[総合計画(目標年度R3)]
安心して子どもを産み育てやすいまちだと思割合 70%
ファミリーサポートセンターの会員登録数 120件
[総合戦略(目標年度R1)]
地域子育て支援拠点 3か所
安心して子どもを産み育てやすいまちだと思割合 70%
[その他]

1.概要

事業内容	子育てに役立つ情報提供を行い、家庭における子育ての支援を行う。また、拠点事業を進展させ、母子保健事業と連携し、アウトリーチ型の早期家庭訪問を行う。
対象	地域住民・子育て家庭
意図・目的	子育て家庭への支援事業の充実・家庭における子育て力の向上・多様な子育て支援サービス環境の整備・母子保健と連携した妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実

2.構成事務事業

事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	子育て支援センター運営事業	乳幼児やその保護者が気軽に集い交流できる場を開設し、育児に関わる情報の提供、子育ての悩みや不安の相談など子育て支援を行う。	741	571	509
2	ファミリーサポートセンター運営事業	育児講座等、登録会員の研修を実施し、地域の子育て支援と児童福祉を向上させファミリーサポート事業の充実を図る。	107	99	0
3	家庭訪問型早期子育て支援事業	母子保健事業と連携し妊娠期から誕生・1歳6ヶ月までを対象に家庭訪問によるパーソナルな子育て支援を実施する。	779	761	761

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・地域の実態をふまえ、子どもに関する様々なニーズに応えられるように、子育て支援の充実を図るとりくみを進めてきた。
・アウトリーチ型の早期子育て支援、子育て応援隊「すくすく」訪問においては、子育てに対する不安感や負担感が見られたので、施設開放に誘うことで悩みを相談できる場を提供したり、個別相談につなげる等ケースに応じた支援を行うことができた。（すくすく訪問（生後4ヶ月まで）：対象57家庭・ハイハイ訪問（1歳6ヶ月まで）：47家庭）
・施設開放においては参加者の固定化の傾向があったが、後半には利用者の参加が増え子どもの年齢の枠を超えた交流が見られた。（施設開放利用延べ人数:1231人）
・一時預かり事業における利用件数は多く、地域における子育て支援の促進となった。（一時預かり利用延べ人数:144人）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・地域の子育ち、親育ちのワンストップ型の利用促進 ・ファミリーサポートセンターの会員登録と利用促進	・関係機関との連携 ・児童減少による対象家庭の減少
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・地域の子育ち、親育ちのワンストップ型の利用促進（子育て世代包括支援センター） ・家庭支援を必要とする場合の具体的な支援の委託	・関係機関との連携及び体制の整備
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・子育てに対する負担や不安の軽減、保護者が自己肯定感をもちながら子どもと向き合える地域の構築し、多様な人材や資源を活用する。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

子ども育成課
115p

大事業名	子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)] 安心して子どもを産み育てやすいまちだと思割合 70% [総合戦略(目標年度R1)] 安心して子どもを産み育てやすいまちだと思割合 70% [その他]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援サービスの充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	妊娠前から子育て期にわたるまで、地域の特性に応じ、「専門的な知見」と「当事者目線」の両方の視点を活かし、必要な情報を共有して切れ目なく支援する。
対象	妊婦・子育て家庭
意図・目的	ニーズに応じた必要なサービスを円滑に利用できるよう、切れ目のない支援を行う。地域の様々な関係機関とネットワークを構築する。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業	ワンストップ相談窓口において、妊娠期、子育て家庭の個別ニーズを把握し、情報提供、相談支援を行い、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援を行う。	0	76	0
2	子育て世代包括支援センター（基本型）開設準備事業	子育て世代包括支援センター（基本型）開設にあたり、利用者が必要なサービスを円滑に利用できるよう、環境を整える。	0	1,279	853

196

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・利用者が必要なサービスを円滑に利用できるように環境整備を行った。（相談室の設置） ・母子保健事業と相互に連携を図りながら、安心して妊娠期を過ごし、出産・子育てができるよう情報提供や相談支援を行った。（相談件数：40件） ・すきっぷ・いちごルーム探検隊を実施することで、すくすく訪問後の子育て支援センターすきっぷやふたば園のいちごルームの利用促進となった。（探検隊参加人数：4人）
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・妊娠期から18歳までの子育て家庭の個別ニーズに合った利用促進	・関係機関との連携
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・妊娠期から18歳までの子育て家庭の個別ニーズに合った利用促進	・関係機関との連携
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・妊娠期から子育て期にわたるニーズに応じたサービスを円滑に利用できるよう、切れ目なくきめ細やかな支援を行う。
--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
子ども育成課
167p

大事業名	幼児教育・保育の充実事業	款 教育費	項 教育総務費	目 事務局費
------	--------------	----------	------------	-----------

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	幼児教育の推進		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		[その他]
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			

1.概要

事業内容	子どもを取り巻く社会状況を踏まえ、研究保育・研修を深め、子どもの発達に即した保育・教育を行う。
対象	保育所・幼稚園・こども園の教職員
意図・目的	保育・教育の質の向上

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	幼児教育・保育の充実事業	特色ある豊能町の就学前保育・教育の充実のため、保育士・教職員の保育・教育力の向上を推進する。	179	300	300

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・研究指定制度を設け、学力向上指導員の協力を得て、主体的に研究活動に取り組み、各園所において研究保育を行った。（研究保育：17回）
・研究保育に基づく学識経験者による指導を受け、研究保育を深めることができた。（研修会：35回）
・幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の改訂と方向性の整合を図るとともに、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿に留意し、豊能町保育・教育課程の再検討を行った。
・運動カリキュラムの実践による検証を幼児・乳児において行った。
・幼児教育アドバイザーを活用し、所園内研修の体制を整備した。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	・保幼小中一貫教育の連携 ・教育課程や指導の改善
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	・保幼小中一貫教育の連携 ・教育課程や指導の改善
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○学力向上指導員や幼児教育アドバイザーを活用し、教職員の資質向上を図る。
○保幼小中一貫教育推進委員会にて体制を整え、計画的に実施する。
○各所属の研修保育の評価の充実を図り、保護者や地域への情報提供に取り組む。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

子ども育成課
167p

大事業名	子育て支援環境の充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度R3)]	安心して子どもを産み育てやすいまちだと思う割合 70%
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みよくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画	[その他]	

1.概要

事業内容	子どもと子育て家庭を取り巻く現状を把握し、「子どもを安心して育てる」ためのサポート、「子どもを産み育てる魅力ある施策」を推進する
対象	地域住民・児童生徒とその保護者
意図・目的	子育ての不安解消、育児負担の軽減、親子の基本信頼関係の構築、キャリア教育（産み育てる次世代の若者育成）

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H29決算	H30決算	うち特定財源
1 児童虐待防止対策事業	児童虐待の社会をめざし児童虐待防止対策の取組を強化する。 児童の安全確認のための体制整備を構築するとともに養育困難な家庭に対して養育支援訪問等を行う。	603	634	634
2 子育て支援環境の充実事業	地域の子育て支援環境の充実を図るため、子育てに関する各課連携事業を実施し「育児の日」の取組を進め、妊娠前から子育て期・中高年期の幅広い世代が交流する場を創出し、次世代子育てネットワークの体制整備を行う。	741	507	507
3 子育て支援地域交流充実事業	幼稚園・保育所・こども園・子育て支援センターが地域のすべての子育て家庭を対象に育児相談をはじめ、交流事業等を積極的に実施し、家庭における子育て環境が整えられるよう支援する。	642	645	645
4 障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業	発達障がいのある児童生徒に関する専門的知識・経験を有する巡回相談員を定期的に派遣し、指導内容や支援方法について助言を受けるなど特別支援教育の推進を図る。	1,524	1,664	1,137
5 放課後児童クラブ地域連携充実事業	放課後に子どもたちの適切なあそびや生活の場を確保し、小学校の余裕教室等を活用して地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。	1,538	1,483	1,483

198

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・臨床心理士による確かなアドバイスや助言により相談者が具体的な解決方法を見出したり、養育支援訪問を実施することで、子育てに対する不安や負担の軽減となった。（心の相談：28件・養育支援訪問：1家庭9回）
 ・育児の日は、事業開始から5年となり、地域住民に定着し、幅広い世代の方の参加があった。（13回）
 ・就学前施設や子育て支援センターが交流事業などを計画し、積極的に実施した。（就学前施設：54回・子育て支援センター：23回）
 ・専門知識を有する巡回相談員を学校園所に派遣し、発達障がいを含む障害のある児童生徒に対する指導内容や支援の方法について助言を受け、一人ひとりのニーズに応じた支援を行った。（巡回相談：55回）
 ・小学校の隣り合った教室を活用することで、放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携でき、多様な学習、体験活動、交流を実施することができた。（12回）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	出生数の減少 学校支援サポーターの減少
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	出生数の減少 学校支援サポーターの減少 関係機関の連携
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・地域や関係機関が主体的に取り組んでいくことができる組織・体制づくりを行い、コミュニティの促進を図る。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
子ども育成課
167p

大事業名	子ども・子育て支援事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	子育て支援環境の充実		
総合戦略		基本目標2「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実	[その他]	
個別計画		子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	幼稚園、保育所、認定こども園の保育認定及び保育給付、豊能町子ども・子育て支援事業計画の進行管理等を行う。
対象	主に就学前の子ども
意図・目的	子ども・子育て支援法等に基づき、幼児期の教育・保育や地域における多様な子ども・子育て支援の充実を図り、子どもの健やかな成長に寄与することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定費用
1	子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援給付事務、豊能町子ども・子育て審議会運営	16,113	5,506	3,122

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・教育・保育給付等を円滑に実施した。 ・豊能町子ども・子育て支援事業計画に掲げている子ども・子育て支援の取組状況及び子ども・子育て支援に関する施策の必要量や施策に対する意向を把握するための調査について豊能町子ども・子育て審議会（1月開催）において審議を行った。 ・第2期子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査を実施した。（対象：妊婦・就学前児童・小学生） 〈主な経費〉 ・教育・保育給付費負担金 4,868,800円 ・豊能町子ども・子育て審議会委員報酬（7名分） 49,000円
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	第2期子ども・子育て支援事業計画の策定（量の見込み）	保幼小中一貫教育の再編の方向性
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	豊能町子ども・子育て支援事業の拡充	専門的な人員、施設の不足
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	--

6.改善の方向性

ニーズに対応できるよう環境の整備や関係機関と連携を検討する。 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、意向調査をもとに必要な量の見込みや施策について、子ども・子育て審議会において審議を行う。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
183p

大事業名	生涯学習推進事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	社会教育総務費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略			[その他]
個別計画		豊能町教育大綱（H30.2改定）		

1.概要

事業内容	市民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、多彩な生涯学習活動の機会を提供し、学習活動を推進する。
対象	住民、各種社会教育関係団体。
意図・目的	地域における社会教育・生涯学習の推進を図る。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	生涯学習推進事業	社会教育委員会に問題点を諮るとともに地域における社会教育・生涯学習の普及に係る事業の企画・実施を行う。 生涯学習の推進	951	1,116	0

200

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○社会教育関係団体等（登録団体数62）及び公民館使用団体（登録団体数276）の登録を行い、団体への支援を行うとともに、団体の活動内容の紹介冊子を作成し、これから活動を始めたいと思っている方への情報提供を行った。

○高齢者を対象とした「ウグイス大学」を開催（全8回、延べ334名参加）。行政の手を離れた運営委員会による企画運営で、自主的な取り組みによる事業が実施できた。

○実行委員会による文化展（2日間）の開催（出展者数348名、作品数498作品、主要部屋来館者数1944名）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	社会教育関係の団体の活動は活発であるが、団体間の相互の連携が十分でない。	生涯学習活動の目的や意義が団体に浸透していない。
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	学校教育との連携の推進	学校教育と社会教育（生涯学習）との課題の共通認識が十分でない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

ウグイス大学及び文化展は、運営委員や実行委員により自主的に進めているが、委員の高齢化に伴い、次期の担い手不足が生じている。特にウグイス大学は、講座内容のマンネリ化の傾向がある。よって、事業の継続・廃止も含めた検討が必要。

社会教育団体間の相互交流の推進を図る。

学校教育との課題の共通認識を図り、連携を深めていく。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
183p

大事業名	青少年健全育成事業	款 教育費	項 社会教育費	目 青少年対策費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	青少年の健全育成		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
個別計画		豊能町教育大綱（H30.2改定）		

1.概要

事業内容	生涯学習課による青少年の健全育成を目指した事業等の取り組み。 青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取り組み。
対象	町在住の青少年
意図・目的	町在住の青少年を対象とした事業であり、青少年の健全育成を目標とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	青少年健全育成事業	青少年の健全育成を目指した事業等の取組 青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取組 青少年の健全育成	2,089	2,173	77
2	音楽ふれあい事業	オオサカンによる親子向け対象の演奏会を実施する。	1,000	1,000	1,000
3	青少年文化スポーツ育成補助事業	全国大会及び海外大会の派遣経費の一部負担	0	200	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○夏休みに小学生対象の講座を開催した(5講座開催、参加者177名)。豊能町内の公民館で活動されている団体に講師を依頼し、子どもたちと一緒に夏休みならではの時間を過ごす。集う・伝える・知る・作るといった時間と空間を共有することにより、年齢を超えたつながりを育んだ。

○平成31年成人式を1月14日に開催（対象者数170名、参加者152名）。太鼓組「爽風」の子ども連による太鼓の生演奏から始まり、穏やかに式が執り行われた。式の中で、「新成人へのメッセージ」として卒業アルバムや当時の担任の先生のインタビュー等を編集したスライドショーを行っており、好評を得ている。

○小学生が自然とのふれあいを通して、環境や食について考える機会の提供と交流を深めるための事業として、青少年指導員会主催で「森と遊ぼう!!」を開催した（参加者62名）。

○青少年指導員とともに、町内コンビニエンスストアや書店での青少年有害図書陳列方法、販売の調査指導を行った。

○町連合こども会主催で年間2事業を行い、単位こども会の交流と子どもの健全育成を図った。

夏休みキャンプ（荒天により中止）、フロアカーリング大会＆ドッチビー練習会（参加者69名）

○土曜日の教育支援として、児童生徒と社会教育関係団体・公民館利用団体との交流を図り、各団体は子どもの活力や感性に驚き、日頃の活動では得られない満足感を感じることに、次への活動に生かすことへとつながることとなった。また、子どもたちは、経験を積む大人たちの指導に触れ「学び」を考えるきっかけとなった（参加者40名）。

○親子のふれあいや音楽を通じた情操教育の推進並びに子育て世代の経費負担軽減のため、音楽ふれあい事業を実施した。（親子ふれあいコンサート239名、クリスマスコンサートに町内の親子267名を無料招待）

○青少年文化・スポーツ競技大会参加者報奨金は国際大会2件の支給を実施。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無	青少年対象事業参加者の二極化	児童生徒数の減少と児童生徒の活動の多様化
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無	こども会の存続	少子化による児童数の減少
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

今後見込まれる青少年の人口数に対応した事業の実施。

今後のこども会のあり方を検討する。

積極的な体験活動の機会を提供する。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
185p

大事業名	西公民館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	西公民館の保守管理
対象	利用者
意図・目的	西地区の生涯学習施設の拠点として、住民の教養の向上、健康の増進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに、公民館の利用促進、社会教育の発展充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	西公民館管理事業	生涯学習施設(西公民館)の適正かつ効率的・効果的な維持管理 住民活動の場の提供	8,470	8,261	3,474
2	西公民館漏水原因特定事業	西公民館の漏水箇所につき、非破壊検査により修繕すべき原因箇所の特定を行う。	0	627	0
3	西公民館大会議室照明更新事業	大会議室の照明器具を最新のLED照明器具に更新し、低電力とメンテナンス頻度の低下による効率化を図る。	0	644	0
4	西公民館電気設備更新事業	西公民館が引き込み受電している電柱の被雷器が経年劣化等により故障し落雷等による過電流が流れた場合、施設設備の重大な事故に繋がることになるため、被雷器の更新を行う。	0	1,102	0
5	西公民館1階南側出入口改修事業	既存の側溝が小型のため、豪雨時排水処理が間に合わず、施設内に雨水流入することを防ぐため側溝と柵を設置する。	0	432	0

202

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○生涯学習活動の拠点として、円滑な施設・設備の提供を行うことができた。
○西公民館漏水箇所を特定し、原因箇所の補修を実施することで利用者の安全性に努めた。
○大会議室の照明をLEDに更新し、低電力化とメンテナンスの効率化が図られ、利用者へも照度が明るくなり、サービスの向上になった。
○電気設備の更新により、落雷等から西公民館の機器設備を守り、安全性の向上と利用者サービスの向上が図れた。
○豪雨時に避難所としての施設開放を実施し、西公民館を利用する避難住民に適切な誘導と安全な指示が出来、緊急時の対応にそなえる事が出来た。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	公民館内設備の更新	施設の老朽化による
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	公民館施設自体の更新	施設の老朽化による
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度中に策定する個別施設計画を踏まえて、施設・設備の更新等を行う。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
187p

大事業名	図書館運営事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	図書館運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	生涯学習の推進		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	図書館サービスの向上を図り質を高める。又、子育て支援の更なる推進及び高齢の利用者対応のため、講座等を時宜に開催する。
対象	利用者（町在住・在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	利用者のニーズにあった資料の充実やサービスの提供に努め、利用者の増加を図る。また、学校や幼稚園、保育所をはじめとする他部局との連携も活用した生涯学習支援、子育て支援を推進する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	図書館運営事業	図書館サービスの向上をはかり質を高めるとともに全域サービスの充実をはかる。又、子育て支援のさらなる推進及び高齢の利用者対応のため、講座等を時宜に開催する。	9,041	8,894	18
2	子育て支援事業	子育てや、読書・学習支援に役立つ各年齢に合わせた図書、雑誌、視聴覚資料等を購入し必要な情報をタイムリーに提供することで、子育て支援関連の事業の推進を図る。	700	745	700
3	利用者用インターネット環境整備事業	利用者用インターネット閲覧用端末の設置を行った。（設置箇所：図書館2台、中央公民館図書室1台）	0	363	363

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○主な実績数値 開館日数：図書館282日・中央公民館図書室294日 貸出人数：63,968人 貸出冊数：203,111冊 有効登録者数：6,458人 一人あたり貸出冊数：10.3冊 催し実施回数110回・延べ参加人数1,667人 展示48回 本のテーマ展示85種類 ○主な実施事業 能勢電沿線の1市2町（川西市・猪名川町）図書館合同イベントの実施（本の紹介・リレー講演会・写真展） 利用者用のインターネット閲覧用端末を設置し、図書館における情報活用環境の充実をはかった。 補助金を活用した子育て支援事業の実施

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	少子高齢化による人口減少 利用者のニーズの多様多様化 司書等従事職員確保の困難さ 各種経費の削減
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	少子高齢化による人口減少 利用者のニーズの多様多様化 従事職員確保の困難さ
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

利用者の多様多様化するニーズを的確に調査・把握し、魅力ある事業の実施に努め、利用者の増加を図る。また、限りある経費の中でより効率的に図書館を運営するため、事業の実施や蔵書の適正な管理、資料の更新等について中長期的な計画を策定し、計画に則って事業を推進する。

大事業名	中央公民館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略			[その他]
	個別計画			

1.概要

事業内容	生涯学習施設（中央公民館）の適正及び効率的・効果的な維持管理
対象	利用者
意図・目的	東地区の生涯学習施設の拠点として、住民の教養の向上、健康の増進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに、公民館の利用促進、社会教育の発展・充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	中央公民館管理事業	生涯学習施設（中央公民館）の適正かつ効率的・効果的な維持管理 住民活動の場の提供	5,475	5,000	592
2	中央公民館業務用掃除機買替事業	業務用掃除機の購入	0	25	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○生涯学習活動の拠点として、円滑な施設・設備の提供を行うことができた。
○業務用掃除機が故障したことに伴い、買い替え購入を行った。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	公民館内設備の更新	施設の老朽化による
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	公民館施設自体の更新 職員体制の充実 施設の管理体制の変更	施設の老朽化 非常勤対応のため事業に対する判断が困難 効率的な公民館の運営が必要
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

令和元年度中に策定する個別施設計画を踏まえて、施設・設備の更新等を行う。 職員体制の見直しを図る。 公民館の管理体制の見直しを図る。
--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
189p

大事業名	図書館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	図書館運営費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度R3)]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実	[総合戦略(目標年度R1)]	
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略		[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	図書館利用者の快適性、安全性、利便性等を考えた適正な維持・管理を行った。
対象	利用者（町在住・在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	すべての図書館利用者に快適性、安全性、利便性等を考えた利用環境を提供する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	図書館管理事業	図書館利用者の快適性、安全性、利便性等を考えた適正な維持・管理を行った。	5,163	5,657	0
2	物置購入事業	平成29年10月の旧双葉保育所内書庫の閉鎖と図書館ガレージへの書庫移転以降、倉庫としても活用していたガレージを倉庫として使用できなくなり、多量の物品の保管場所を確保できない状態となっていることから、新たに物置を購入し図書館敷地内に設置した。	0	249	0
3	図書館屋根復旧事業	平成30年台風21号により図書館屋根の一部が破損したため、仮復旧工事を行った。 また、本復旧工事の実施設計を行った。	0	1,036	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の修繕については、利用者の安全性、利便性を考慮し、危険度、緊急度が高いものを優先的に実施した。
○施設維持管理に要した主な経費 光熱水料費（電気、ガス） 2,974,198円 修繕料（天井材脱落改修工事等） 111,348円 業務委託料（施設維持管理：清掃、空調・自動扉等機器保守、除草・剪定、機械整備） 2,358,720円
○豊能町立図書館屋根復旧関係 屋根の応急復旧工事 屋根本格復旧工事に係る実施設計業務

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	修繕を要する箇所が多発し、維持管理に要する経費も増加している。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	開館から30年以上経過したことによる施設の老朽化
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

施設の老朽化が甚だしく、通常の業務もままならない状況に陥る危険性が高い。応急処置的な修繕や改修では根本的な解決にならないため、早急に施設の建て替えも視野に入れた抜本的な改修を検討する必要がある。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
189p

事業名	款	項	目
ユーベルホール管理事業	教育費	社会教育費	ホール運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	ユーベルホールの保守管理運営と施設整備
対象	利用者
意図・目的	施設内外の多様な設備の保守管理や整備を行うことにより、貸館や主催事業などをいつも良好な環境下で実施する。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	ユーベルホール管理事業	芸術・文化発表の場を提供するために、多種多様な施設設備の保守管理を行い、円滑な運営をする。	37,499	37,077	37,077
2	ユーベルホール総合防災盤改修事業	事務所内の総合防災盤に不具合が生じているため不具合箇所の回路基板の交換を行うとともに、防災盤全体を更新する。	435	9,256	0
3	ワイヤレスマイクシステム更新事業	現在のワイヤレスマイクシステムは、ホール開館当初からのシステムで、経年劣化により不具合が生じているため更新する。	0	2,300	100

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の老朽化により生じている不具合箇所の修繕について、優先順位をつけ実施することにより、貸館や主催事業などが滞りなく実施できた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	施設の老朽化による修繕箇所の増加と維持管理費用の増加	施設の老朽化
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	今後のホールの在り方や方向性を検討し、大規模改修の必要性も考える	施設の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

C	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	--

6.改善の方向性

施設の管理業務（舞台・音響・照明）の複数年委託（債務負担）を検討する。
令和元年度中に策定する個別施設計画を踏まえて、施設・設備の更新等を行う。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
191p

大事業名	文化振興事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	ホール運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出		[その他]
	個別計画	教育大綱（H30年2月改定）		

1.概要

事業内容	豊能町の文化の交流・振興の拠点施設を目指して、また、町内の活動団体の発表の場として、ホールやロビーを利用した住民交流の場として運営する。
対象	町民及び文化芸術鑑賞されるもの
意図・目的	地域住民をはじめとする人々がホールに親近感を持ち、ホールへの事業参加や施設の活用を促し文化振興を促進する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	文化振興事業	主催事業、連携協力事業、ロビーコンサートを実施し、文化芸術の振興、豊かな心を育てるもの。	5,201	4,995	4,995

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○ユーベルロビー登録者制度により町民を主体とした音楽による年間11回のロビーコンサート（延べ554名来場）を開催。音楽を通じた交流と発表機会の提供、文化ホールを拠点とした文化芸術の振興へ寄与した。

○町内文化推進団体との連携により、「家族と楽しむ落語の世界（159名来場）」や「ユーベル寄席（406名来場）」を実施した。

○NHK大阪放送局との共催で、「NHK公開講演会・京都国立博物館初の刀剣特別展「京のかたな」（214名来場）」を実施した。

○協定団体であるフィルハーモニック・ウインズ大阪（通称：オオサカン）により、年6回のホールコンサート（延べ1,264名来場）や年4回のロビーコンサート（延べ220名来場）を開催。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	文化芸術事業への住民の自主的活動団体の育成	少子化による、サークル活動や音楽教室などの減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	住民参加型の事業実施	リーダーとなる人材不足とコーディネーターの育成
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	--

6.改善の方向性

住民活動や協定団体を支援することを中心に行う。

NHK大阪放送局との共催事業や各種補助事業を積極的に利用する。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
191p

大事業名	文化財保護事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	文化財保護費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出		
	個別計画	豊能町教育大綱（H30.2改定）		
		関連指標	[総合計画(目標年度R3)]	
			[総合戦略(目標年度R1)]	
			[その他]	

1.概要

事業内容	埋蔵文化財調査、保全、寺社調査、石造物調査
対象	町内文化財
意図・目的	文化財の保護啓発、埋蔵・民俗・石造文化財等の調査、保全により文化財を後世に伝える。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	文化財保護事業	埋蔵文化財調査・保全・寺社調査、石造物調査等の文化財に関する事業を行う。 豊能町の文化財を後世に伝える。	48	53	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

文化財保護委員会の開催

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	町内文化財の情報、文化財発掘調査技術の継承	適正な人員配置計画がない。
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	町内に所在する未調査文化財（古文書、有形・埋蔵文化財）の把握と適切な保護措置、文化財担当職員の育成	将来を見据えた人員配置計画がない。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

- 文化財を活用し町民の生活を豊かにすることで、文化財への意識を高揚させていく。 - 将来を見据えた人員配置計画を策定する。 - 文化財担当職員を育成する。
--

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
191p

大事業名	郷土資料館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	文化財保護費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度R3)]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出	[総合戦略(目標年度R1)]	
個別計画		豊能町教育大綱（H30.2改定）	[その他]	

1.概要

事業内容	郷土資料館の管理、展示物の適正管理、来館者への案内
対象	住民、近隣住民、豊能町に興味がある方
意図・目的	豊能町の文化財の啓発施設としての適切な運用と適正管理

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	郷土資料館管理事業	郷土資料館の適正な維持管理事業を行う。	226	331	26

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○来館者総数は1年間を通して528名であった。
○豊能町内小学校の社会科・総合的な学習の時間の地域学習に貢献した。
○豊能町の昔の生活の伝播と文化財の保護を行った。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無	施設の修繕などが必要	施設が老朽化している
	事業内容 有		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進捗管理 無	施設の移転等が必要	防火・防犯等の面で貴重な文化財を適正に保管する施設機能を有していない。
	事業内容 有		
	費用対効果 有		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

・施設の老朽化により、大規模修繕または移転を検討する。 ・町内の文化財や歴史などにフォーカスを当て、活用をする。 ・ホームページの更新など情報発信を行う。

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
193p
目

事業名	体育施設管理事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度R1)]
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	各体育施設の適正な維持管理を行う。(スポーツ広場、ふれあい広場)
対象	利用者
意図・目的	町民一人一人、また各種団体の活動の場として利用しやすい施設を維持し、住民の体力推進に寄与する。

2.構成事業

事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	体育施設管理事業	下記体育施設の維持、管理を目的とする。 ・スポーツ広場 ・ふれあい広場	4,886	3,313	1,669
2	体育施設刈払機購入事業	台風の雨の影響と経年劣化をしているため、業務の効率化を図るために買い替えを行う。	0	77	0
3	ふれあい広場塩化カルシウム散布機購入事業	塩化カルシウム散布業務の円滑化を図るため、かつ、丁寧に散布するために購入を行う。	0	45	0
4	ふれあい広場屋根修繕事業	台風の影響によりふれあい広場事務室の屋根が破損したため、緊急で修繕を行う。	0	270	0

210

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○ふれあい広場、スポーツ広場の施設利用や管理が適切に行われた。
○町民だけではなく、近隣市町の地域住民の利用もあり、住民の健康増進に寄与した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	施設の適正な維持管理 施設管理者の確保	施設の管理体制
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	施設や備品の老朽化・経年劣化の対策や施設の維持管理	施設の老朽化や備品の経年劣化による
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

- ・適正な施設の維持管理計画の策定
- ・施設維持管理の体制の見直し
- ・老朽した施設や備品の定期的な施設整備と買替の実施

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
193p

大事業名	シート管理事業		款	項	目
			教育費	保健体育費	スポーツ振興費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度R3)]		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実	[総合戦略(目標年度R1)]		
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進			
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント	[その他]		
個別計画		基本協定			

1.概要

事業内容	シートの指定管理制度による適正管理業務
対象	利用者
意図・目的	民間事業者による指定管理者の能力を活用し、地域住民等に提供するサービスの効果効率を向上させ、地域住民の一層の健康管理を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	シート管理事業	平成19年度より、1期5年間で指定管理を導入 29年度から33年度まで、3期目 指定管理料の委託により、民間活力導入により、効率的な運営を図る。	47,376	47,107	528
2	シート改修事業	シートの空調設備(チラー)が経年劣化による故障により、更新工事を図るための設計業務	0	2,160	0
3	シート屋根復旧事業	台風21号によるシート屋根一部破損による屋根改修工事に伴う設計業務	0	390	0

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

・民間活力により、サービスの効果効率を図り、一層の健康増進が図れた。	
平成30年度利用者数	
プール/ジム/スタジオ	137,963人
アリーナ	32,303人
第二体育場	3,266人
テニスコート	8,410人
会議室	4,050人
総利用者数	185,992人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	施設の老朽化	経年劣化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	将来的に見込まれる利用者数の減	町民の人口減少及び高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・令和元年度中に策定する個別施設計画を踏まえて、施設・設備の更新等を行う。	
・多種多様な住民ニーズに対する早急な対応、利用者の新規獲得を図る。	

平成30年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
195p

大事業名	生涯スポーツ推進事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度R3)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		[総合戦略(目標年度R1)]
	総合戦略	基本目標4 進めることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		
個別計画		豊能町教育大綱(H30年2月改定)	[その他]	

1.概要

事業内容	学校体育施設の開放、スポーツフェスティバルの開催、各種スポーツ教室の開催、スポーツ施設の運営等
対象	住民
意図・目的	誰もがいつでもどこでも気軽に参加でき、スポーツに親しみ、自分にあった生涯スポーツを見つけることができるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H29決算	H30決算	うち特定財源
1	生涯スポーツ推進事業	様々なスポーツ・レクリエーション活動の場と機会を提供し、地域における生涯スポーツの振興を図る。	2,463	2,133	98
2	スポーツフェスティバル事業	町立スポーツセンターを1日貸し切り、老若男女がスポーツや遊びなどを楽しめるイベントを開催する。なお当日は、施設内を無料開放とし、参加者が自由に各ブースを選択して参加できるよう多様な内容を提供する。	0	267	0

212

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

スポーツ推進委員会主催事業 トレーキング教室「高野山を歩く(37名)」、サイクリング教室(雨天の為中止)フロアカーリング大会(47名)を開催した。様々な年齢層の方が参加し、スポーツの機会提供と参加者交流を図ることができた。 また、スポーツフェスティバルでは各ブース延べ917名の参加者を集め、多種多様な内容を提供することができた。 また、町民ゴルフ大会を年2回開催し、実行委員が自主的に行い、住民主体の大会として、幅広い年齢層の交流の場として定着している。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	高齢者のスポーツ人口の増加に伴うニーズへの対応
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	今後の人口数に対応したスポーツの実施
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

・多種多様なスポーツ事業の展開を図り、一人でも多くのスポーツ人口を増やす。
・少人数でも、また、高齢者でも取り組むことができるスポーツの普及を図る。